

帯広電信通り商店街振興組合



DENSHIN
DORI

活性化計画&実施事業

「売り場」から「広場」へ



経済産業省北海道経済産業局
地域商店街活性化法認定 平成23年3月31日
事業実施期間 平成23年4月1日～平成27年3月31日

【商店街作りコンセプト】 平成22年制定

～お年寄り・障がいのある方と
協働・共生する商店街～

- 短期目標 = 福祉・スイーツロードの形成
- 中期 // = 働・食・住が揃い、地域貢献が出来る商店街
- 長期 // = お年寄り・障がいがあっても、地域社会で普通に暮らしができる商店街



- 1947年 1月 昭和22年 北海道釧路市で出生
- 1948年 昭和23年 北海道帯広市に居住
- 1963年 3月 昭和38年 北海道立帯広高等技術専門学校電気科卒業
- 1972年 1月 昭和47年 アドサイン創業（看板業 / 企画・設計・施行・管理 業務）
- 1990年11月 平成 2年 事業所を現在地に移転
- 1994年12月 平成 6年 有限会社アドサインに法人化
- 2000年 4月 平成12年 電信通り花と緑の推進委員会「花ば咲かせ隊」隊長に就任
- 2004年 5月 平成16年 帯広電信通り商店街振興組合 専務理事に就任
- 2008年 5月 平成20年 “ ” 理事長に就任
- 2011年 3月 平成23年 経済産業省 北海道経済産業局 地域商店街活性化法 認定
- 2011年 5月 平成23年 街づくり目的会社「株式会社でんしん」設立 代表取締役に就任

● 電信通りの位置

- ・ 帯広市北東部に位置し、十勝川を境に音更町、札内川を境に幕別町が隣接。
- ・ 国道38号・236号からの通勤・通学の際の生活道路の位置付け。

● 環境の変化

- ・ 近年帯広市全体でも人口は微減。中心核が市内南西部に移り、住宅地も南西部や周辺市町村に移る。
- ・ 電信通周辺地区は人口減少が止まらず、市内でも高齢者比率の高い地区となっている。
- ・ 電信通り内の交通量は、自動車で平日12時間で約7,000台と幹線道路並み。但し、休日12時間の交通量はやや減少する。
- ・ 歩行者などは時間帯によって、数人の時間帯もあり多くわれない。
- ・ 近年は近隣の町に大型ショッピングゾーンや国道38号線には専門店が続々進出するなど、商店街内各個店の経営環境は年々厳しい状況となっている。



| 帯広市 | 平成 24 年 | 平成 29 年 | 電信通り商店街 半径 1km 地区 | 平成 24 年 | 平成 28 年 | 平成 29 年 |
|----------|---------|---------|----------------------|---------|---------|---------|
| | 3 月末 | 10 月末 | | 3 月末 | 10 月末 | 10 月末 |
| 市内人口計 | 168,188 | 167,760 | 商圏人口計 | 10,395 | 9,228 | 9,579 |
| 世帯数 | 82,304 | 87,234 | 世帯数 | 5,890 | 5,707 | 5,791 |
| 世帯当り人口 | 2,04 | 1,92 | 世帯当り人口 | 1,76 | 1,62 | 1,64 |
| 65 歳以上人口 | 38,981 | 46,612 | 65 歳以上人口 | 2,879 | 2,527 | 2,670 |
| 高齢化率 | 23,2% | 27,8% | 高齢化率 | 27,1% | 27,4% | 28,0% |

| | 商店街大通側 (西側) 計測値 | | | | 商店街東 4 条側 (東側) 計測値 | | | |
|-----|-----------------|-------|---------|-------|--------------------|-------|---------|-------|
| | 平成 23 年 | | 平成 29 年 | | 平成 23 年 | | 平成 29 年 | |
| | 平日 | 休日 | 平日 | 休日 | 平日 | 休日 | 平日 | 休日 |
| 自動車 | 7,533 | 7,624 | 8,602 | 7,216 | 7,213 | 6,802 | 6,626 | 5,872 |
| 歩行者 | 173 | 143 | 416 | 350 | 218 | 97 | 194 | 136 |
| 自転車 | 221 | 92 | 310 | 424 | 97 | 56 | 18 | 218 |

● 帯広電信通り商店街振興組合

電信通り = 大通本通東側～東4条東仲通りまでの約450m
 街区拡張(平成26年9月18日)=東2条南4.5.6丁目 約300m

代表者 理事長 長谷 渉

- ・昭和46年 帯広電信通商店街組合設立 加盟73店舗で設立
- ・昭和49年 帯広電信通商店街振興組合 として法人化
- ・平成元年 街路整備事業完成時 加盟店44店舗
- ・平成22年 地域商店街活性化事業調査時 加盟店32店舗
- ・平成28年 商店街活性化事業継続1月 加盟店44店舗

● 組合加盟店一覧 (52店舗) 平成29年6月現在

| 産業分類 | | | | | |
|------------------|---------|-----------------|-------------|-----------------------|---------|
| 店名 | 分類 | 店名 | 分類 | 店名 | 分類 |
| シニア・ハイツ 鳳悠 | サービス業 | ペットハウス リヨ・ドール | 卸売り・小売り | 十勝信用組合 北支店 | その他 |
| ミント カフェ | 飲食業 | 中川動物病院 | その他 | 中小企業同友会とかち支部 | その他 |
| セイコーマート | 卸売り・小売り | おでん酒 姫 | 飲食業 | salon 齋藤亭 | その他 |
| 電信通りシアハウス | サービス業 | M&C OFFICE | その他 | ホチーノ ロースタリ | 卸売り・小売り |
| 川村歯科クリニック | その他 | ちさくクリーニング | サービス業 | (株)北海道バイオマスリサーチ | その他 |
| 野沢商会 | 卸売り・小売り | ドーナツ ラボ | 卸売り・小売り | NPO法人コミュニティシンクタンクあうるず | サービス業 |
| ホッチーノ コーヒー | 飲食業 | お話聴き屋 傾聴所 心音 | サービス業 | 京屋旅館 | サービス業 |
| 思い出工房 | その他 | コミュニティショップ ミナミナ | 卸売り・小売り | 帯広信用金庫 電信通支店 | その他 |
| てのひら | 卸売り・小売り | 真鍋若松堂 | その他 | 丸屋仏具店 | 卸売り・小売り |
| 雑貨ショップ Toko Toko | 卸売り・小売り | 高橋まんじゅう屋 | 卸売り・小売り | 炙り肴肴 くまのや | 飲食業 |
| 長谷川産業 株式会社 | 家具小売り | 花 芳 | 卸売り・小売り | 写真の 5&5 | サービス業 |
| 株式会社 でんしん | その他 | 蕎麦処 開拓舎 | 飲食業・卸売り・小売り | 帯広電信通郵便局 | その他 |
| ごはん屋 でんしん | 飲食業 | オートスピリット | 卸売り・小売り | フェイシャルサロン Maple | サービス業 |
| 御用聞き屋 べんぞう商店 | 卸売り・小売り | サイトウ理容 | サービス業 | 中塚肉店 | 卸売り・小売り |
| クッキーハウス ぶどうの木 | 卸売り・小売り | 株式会社 昭和プリント | 印刷業 | まこと法律事務所 | その他 |
| 坂本石油 株式会社 | 卸売り・小売り | 有限会社 アドサイン | その他 | (株)サンドイッチ・(株)Skech | サービス業 |
| たちばな歯科医院 | その他 | 保険代理店 IS. | その他 | | |
| 圓佛印舗 | 卸売り・小売り | エステ ROOM みく | サービス業 | | |

● 帯広発祥の地としての顔

・明治16年に最初に帯広に開拓民が入植

した土地で最も歴史の古い地域。

・明治30年に街道に帯広で初めて電信柱



● 門前街としての顔

- ・明治40年に浄土真宗本派本願寺と認可され、本願寺帯広別院として設立。
- ・夏のお祭り、秋の収穫祭には会場を提供してもらい、地域にも根ざしているお寺である。





商店街を利用される方の約5割強が創業約70年の高橋まんじゅう店に寄る。



他には、十勝ベーグル店・十勝ドーナツに寄る。

他には郵便局か銀行に寄るだけでそれ以外は寄るお店が無い。

【利用者の要望】
他にもスイーツ店があれば寄りたい

スイーツロードの充実
同業態企業の誘致

商店街を利用されない方は、利用したいお店が無い。

【高齢層の要望】
1個から気軽に安心して買える常設の生鮮食料品のお店が欲しい。

「ミナミナ広場」の取扱品目の拡大・施設拡充・継続的運営体制構築

商店街に昼食等に気軽に寄れる飲食店が少ない。

【高齢層の要望】
リサイクル代理販売や何でも屋的なお店が欲しい。

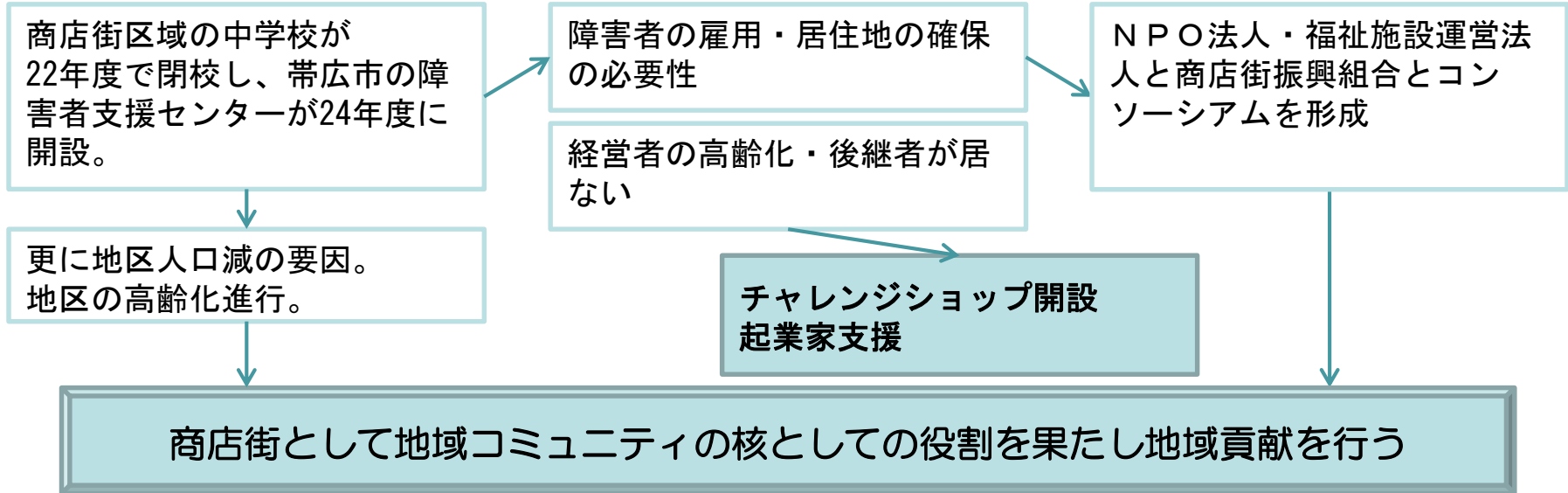
「べんぞう商店」の便利屋サービス事業立上・継続的運営体制構築

【若年層の要望】
コンビニ・ファーストフード店が欲しい

【高齢層の要望】
気軽に寄れ、情報交換が出来るコミュニティ食堂が欲しい。

製造から販売まで一体化し地域住民が安心して利用できる食堂・居酒屋

食材豊かな十勝の地域資源を活かした食育。



◎ 商店街作りコンセプト ◎

～お年寄り 障がいのある方と協働・共生する商店街～

- 短期目標/福祉・スイーツロードの形成
- 中期目標/働・食・住が揃い、地域貢献が出来る商店街
- 長期目標/お年寄り・障がいがあっても、地域社会で普通に暮らしが出来る商店街

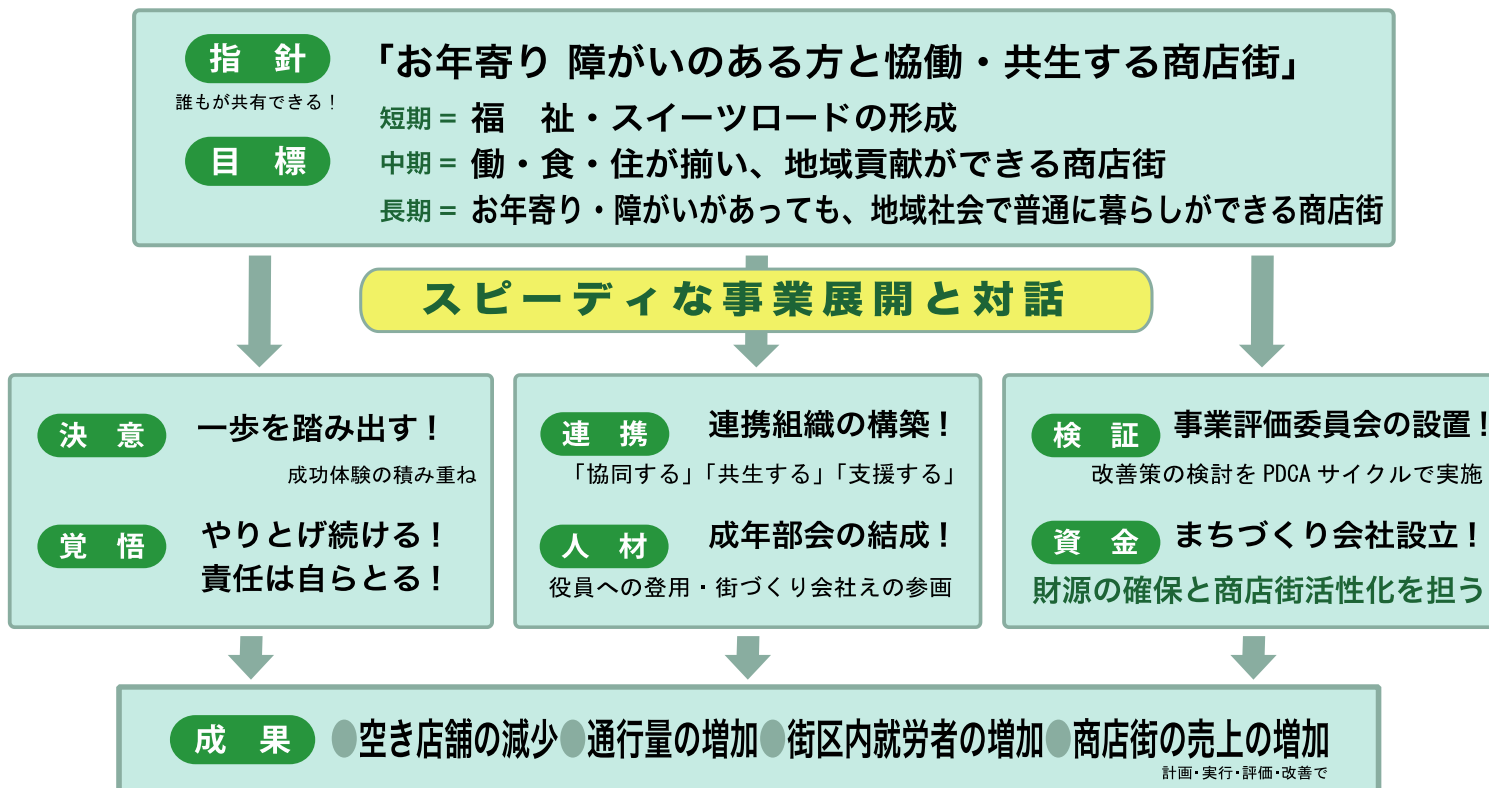
コンセプトに基づき、社会問題に対応する!!

(少子化・高齢化、安心・安全、創業・人材、農商工連携など)



歴史ある商店街の強みを生かす!!

地域密着・・・店舗・住居が一体となった店
信頼関係・・・社会福祉法人・NPO 法人との連携



■ 障がい者など就労支援施設 街区内9ヶ所 従業員35名・施設利用者月延べ100名 合計135名雇用創出。
(A型施設 2ヶ所、B型施設 5ヶ所、生活困窮者・若者支援施設 2ヶ所)

帯広電信通り商店街（事業主体）

コンソーシアム

社会福祉法人

NPO法人

- ・活性化計画策定申請
- ・認定受理
- ・補助金受理
- ・資金調達/資金管理
- ・売上経費管理

【認定計画事業】

平成23年度上期

○温もり支援事業（i） 一産直生鮮品販売拡大・喫茶スペース新設事業

○温もり支援事業（ii） 一買い物弱者・独居高齢者安否確認事業

平成23年度下期

○門前街ルネサンス事業（i） 一秋だうまいべや収穫祭（年1回秋季開催）

○陽だまり支援事業 一よろず相談事業

○スイーツロード形成事業（i） 一製造販売一体型店舗運営事業・商店街情報発信並びにコミュニティ活動拠点事業

平成24年度上期

○門前街ルネサンス事業（ii） 一花ば咲かせよ園芸市（年1回春季開催）

○うるおい支援事業 一コミュニティ食堂設置運営事業

平成24年度下期

○起業家支援チャレンジショップ事業

平成25年度上期

○スイーツロード形成事業（ii） 一スイーツ業態起業の誘致

○産学連携チャレンジショップ事業

平成25年度下期

○産学連携チャレンジショップ事業

活性化事業事務局

A事業実施者

組合員
・理事A
・店主A

B事業実施者

組合員
・理事B
・店主B

⋮

独自収益事業

各事業実施場所

金融機関

帯広電信通り商店街 活性化事業評価委員会

年度毎又は必要な時期に、活性化事業をPDCAサイクルで評価。今後への提言

【構成員】

- ・帯広市商工会議所
- ・帯広商店街振興組合連合会
- ・帯広市商工担当職員
- ・有識者

街づくり会社（株）でんしん

【平成24年度までの開始予定】

- 障がい者向け住居の提供 運営・管理
- 商店街共同駐車場の開設 運営・管理
- 商店街ゆるキャラ「でんぞうちゃん」を活用した収益事業



過去の取組み事業



●夏祭り盆踊り大会

- ・昭和48年より毎年開催。
- ・商店街振興組合と本願寺帯広別院が中心となって開催。地域行事として、親しまれている。



●平成元年～

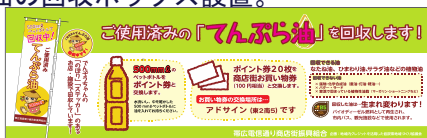
街路整備事業

- ・商店街広告塔(商店街シンボルトワー)の設置。
- ・案内板兼告知板。
- ・街路灯整備。



●平成20年～廃食用油回収事業

- ・商店街内数ヶ所に廃食用油の回収ボックス設置。
- ・回収した廃食用油はバイオディーゼル燃料に精製後、イベント発電機燃料として活用する。



●平成12年～

電信通り花と緑の推進委員会

「花ば咲かせ隊」緑化美化活動

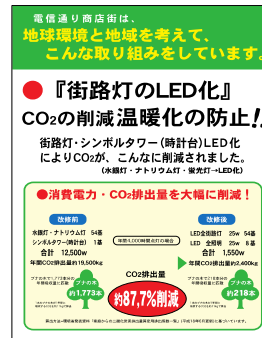
- ・電信通りにおける花と緑による潤いのある街作りを目的に「花ば咲かせ隊」を結成。現在も活動中
- ・平成20年度第4回帯広市まちづくりデザイン賞受賞。
- ・帯広商工会議所「花いっぱいコンテスト」最優秀賞。



●平成21年～

街路灯照明LED化事業

- ・新たな環境負荷軽減への取組みとして、街区内/車道街路灯36基、歩道街路灯18基をLED灯へ転換。
- ・シンボルトワーも併せてLED灯へ転換。
- ・約86.2%のCO2排出量削減を実現。



平成23年度～平成29年度迄の実施事業



- ・空き店舗対策などの事業(障がい者などの就労支援事業) = 9施設 (コミュニティ店舗などの事業) = 5施設
- ・施設整備事業(除雪車の導入、環境整備 ベンチ及び花壇柵などの整備) = 2事業
- ・地域ニーズ調査事業(経産省認定、産学連携、コミュニティサロン設置、訪日外国人ゲストハウス) = 4件
- ・イベント事業(収穫祭「秋フェス」、花壇整備「園芸市」、電信通り「Halloween」) = 3事業



●平成23年9月 温もり支援事業(i)

「ミナミナ広場」が「コミュニティショップミナミナ」に、リニューアルオープン

- ・社会福祉法人が障がい者就労継続B型事業所として商店街と運営、地域のニーズに応じてコミュニティスペースを充実しカフェを新設する。

●平成28年5月 業態変更

日替わり弁当「店売り・宅配」とうふ製造宅配に、リニューアルオープン

- ・弁当・とうふを近郊の高齢者より注文を受け、宅配することにより高齢者見守りとしても喜ばれる。

●平成29年4月 業態変更

法人農場を生かし、農産物の「六次産業化」を目指し、リニューアルオープン

- ・さつまいも羊羹・とうふの製造・乾燥野菜などの新製品の開発にも取り組んでいる。



●平成23年10月 門前街ルネサンス事業(i)

秋だうまいべや収穫祭「電信秋フェス2011」開催

- ・街区内の、お寺の境内で地域の住民と、高齢者や障害者との共生事業として「収穫祭」を実施。
- ・地場の農産物や海産物を直売、管内の福祉施設で生産した加工品手芸品などのブースが数多く出店があり絆が生まれた。



●平成23年8月 温もり支援事業(ii)

御用聞き屋 べんぞう商店～リニューアル

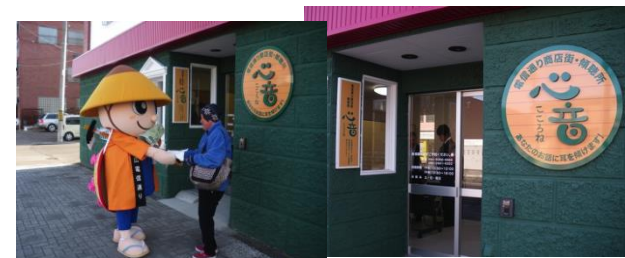
- ・NPO法人が障がい者就労継続B型事業所として商店街と運営、地域・姉妹都市などの特産品や、福祉施設の加工品・調剤薬局と連携し高齢者向け健康志向の商品の充実をはかり、御用聞きサービスの取り組みも実施。店長自身も、利用者としての経験を生かし、利用者と共に助け合い運営している。





●平成23年11月 陽だまり支援事業～よろず相談所設置「心音」

- ・社会福祉法人が、障がい者就労継続B型事業所として商店街と運営、地域に住む(障がいのある方・若年層・高齢者)の方に専門相談員を配置し日常生活相談など気軽に話せるスペースとして運営。
- ・電信通り「ごぼう茶」干しいも「あまいもスイーツ」の製造作業所として活用し多くの施設利用者に喜ばれている。



●平成23年12月 スイーツロード形成事業 (i) クッキーハウス ぶどうの木

- ・NPO法人が障がい者就労継続B型事業所として商店街と運営、スイーツロード 形成事業・育児中の主婦をターゲットとした子育て支援「子ども広場」等を設置、さらに商店街情報発信ならびにコミュニティ活動拠点としても活用している。



●平成24年3月 地域商業活性化施設整備事業(災害に強い商店街等の整備を行う事業)

災害一時避難所・防災備蓄庫 電信通り「絆」

- ・災害時に帰宅難民者の受け入れをし、災害時における(食料品 供給・避難民の移送など)企業・団体と連携協定書の締結し、又、地域町内会・障がい者就労支援施設とも利用協定書を交わし災害時に備える。
- ・空き部屋を社会福祉法人が、若者・生活困窮者支援施設として活用。





●平成24年4月～9月 門前街ルネサンス事業(ii)

商店街緑化、4月～6月の7週に渡り園芸市を開催

- ・従来より開催している、商店街花と緑の推進事業を拡大し花壇整備とリンクさせ、商店街駐車場で花の苗などを販売する「園芸市」を7週に渡り開催、地域住民の参加を促し来街者増加を目指し、地域ぐるみで環境整備を行う。
- ・「園芸市」の販売員として社会福祉法人が担当し、若者・生活困窮社就労支援事業として実施。



●平成24年8月うるおい支援事業=コミュニティ食堂設置運営事業

総菜・ごはん屋 でんしん

- ・社会福祉法人が障がい者就労継続B型事業所として商店街と運営、高齢者や地域住民が気軽に寄れる低価格で安心して、楽しめるコミュニティの場とし、普段は夜に居酒屋に行けない障がいのある方も、気楽に交流できる場として利用されている。
- ・店長は、料理人修業中に心を壊してしまい社会福祉法人に利用者として支援を受けていたが、店の立ち上げに誘われ即決し携わっている。





●平成24年10月 起業者支援チャレンジショップ事業 **ぴあのかふえ りずむ**

・ピアノ塾と商店街が連携し、障がいを持つ子供や地域の高齢者などが利用できるコミュニティとして設置された。

●平成28年8月 起業者支援チャレンジショップ事業 **継続新規開店 雑貨ショップ Toko Toko**

・「りずむ」の移転に伴い、開店当初より雑貨ショップ・手芸品などのカルチャー教室や、各種ワークショップを定期的に開催し利用があった「TOKO TOKO」が店舗を継続したいとの要望が有り、商店街が目指すコミュニティの形成・事業コンセプトとも合致するので継続者とした。

平成24年10月
開店時



平成28年8月
継続新規開店



●平成25年2月 **活性化事業推進による波及効果!!** 街区内新規事業者の参入

とかちパイの店 てのひら

・市内通所介護事業者と商店街が連携し、介事業者が新たな事業所として、多機能型障がい者就労継続A型事業所を開所、高齢者や障がいのある方の雇用促進を目的として実施する。



●平成27年5月 **事業の業態変更**

事業内容を一新し、アクセサリ等を制作し、革製品については鹿皮を有効利用し、各種ケース類等、新製品開発し品質向上につとめ、障がい者就労支援の深化した事業展開を目指す。



●平成29年3月 **後継者育成事業としてミニチュア**

ランドセル工房を継承 思い出工房 TEnoHIRA として!!



高齢化社会が急速に進み、後継者いなく閉店する店舗も近年増加し対策が急がれていた中、事業後継者として「てのひら」障がい者就労支援A型事業者が、技術を習得し事業継続を希望し、後継者として事業を継承した。



●平成26年3月

スイーツロード形成事業(ii) 蕎麦処 開拓舎

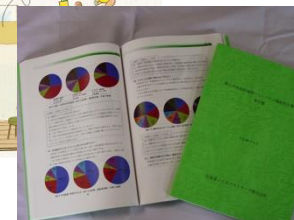
- ・農業の6次産業化に基づく認定事業者と商店街が運営し、商店街にファストフード・スイーツ店が、ほしいとの地域要望に応じて、そば・そばかりんとう・干し芋・野菜せんべい等を販売する店舗を造り、地域資源活用・農商工連携・雇用創出など社会問題にも対応した事業の展開をする。
- ・そばの栽培から製粉・製麺まで十勝にこだわり安心・安全な食品の提供。



●平成26年3月 地域商業再生事業

～地域コミュニティ機能再生事業、地域状況調査事業～

- ・当該地区を対象にして地域コミュニティに欠けている要素を調査し、住民ニーズにそった長期的に継続できる複合型交流施設の整備事業を視野にいれ「地域再生協議会」を設立(日本郵政・NTT・ヤマト運輸・大学・NPO法人・金融関・福祉事業者・行政・地域団体)などと連携しコミュニティの設置に向けての現状調査を実施する。



●平成26年3月

産学連携チャレンジショップ事業

- ・次世代を担う地元短期大学と連携し「若者が商店街に期待するもの、あったらいいもの、あるべき姿」などを、アンケート・現地調査・ワークショップなどを踏まえて、地域高等学校などにもアンケート調査を実施し報告書としてまとめ、若者目線での短期・中長期計画を策定し活性化事業に反映させ、次年度に向け空き店舗を活用したチャレンジショップ事業に繋げる。





平成26年度の事業



●平成26年10月 起業家支援チャレンジショップ事業 (後継者育成事業)～ミニチャランドセル工房

- ・高齢化社会が急速に進み、組合員の中でも後継者いなく閉店する店舗も近年増加し対策が急がれていた。
- ・商店街と後継者未定事業者で後継者に接客・技術などを協同で教育し後継者として育てる。
- ・事業後継者として「てのひら」障がい者就労支援A型事業者が、技術を習得し事業継続を希望し、平成29年2月より後継者として事業を継承した。



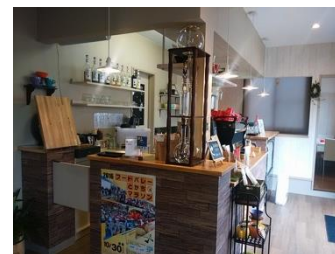
●平成27年3月 産学連携チャレンジショップ事業 CAFÉ SOBA

- ・地元短期大学と連携調査事業「若者が商店街に期待するもの等」をふまえた地域住民ニーズに応えた、社会問題を解決に向けた事業展開を進める。
- ・インターシップの場としても活用し経営体験の場を提供し人材教育支援、後継者育成を目的として実施した。



●平成28年5月 継続新規開店 ホッチーノ コーヒー

- ・社会問題を解決し地域住民ニーズをふまえた商店街の再生と活性化を目指す事業で、商店街のみならず地域の様々な関係者と連携して「にぎわい再生」と「商店街の魅力向上」を図る事を目的とし事業を継続推進する。



DENSHIN DORI

街づくり会社 株式会社でんしん 実施の収益事/平成23年より随時実施



●新商品開発、駐車場の管理・運営、設備リース

- ・商店街独自開発スイーツなどの販売。
- ・空き地の借上げ、月極駐車場の運営。7ヶ所約80台
- ・設備リース並びに管理。

●障害者向け住居の提供・運営・管理

- ・周辺環境変化に対応した事業。
- ・空き住宅の買上げ、老朽化した内装・施設を改装。
- ・障害者へ自立支援の一環として、定住型施設の提供。8部屋

●平成28年3月 地域商業自立促進事業「地域コミュニティサロンの設置」 salon 齋藤亭

商店街が地域の担い手としての役割が増すなか、子育て支援・高齢者支援・若者支援などを通じて、安心できる暮らしを支え、人と人とのつながりが地域を支え、生きがいのある環境の整備が重要と考え、商店街・NPO法人・大学・企業・ボランティア団体・関係機関などと連携し、設立運営委員会を組織し永続的なコミュニティの場として古民家をサロンとして整備し、活用する。

- ◆地域コミュニティの拠点となる、多様な世代が交流できる場の設置
- ◆障がい者共生支援
- ◆高齢者世代と子育て世代の交流



P. 6



(3) 2016年(平成28年)5月16日(月曜日) (第3種郵便物認可) 十 豚 毎 日 新

古民家サロン誕生

齋藤亭「地域に役立つ施設に」

電通通り商店街

帯広電通通り商店街振興組合(長谷理理事長)が自家を活用し、整備を進めてきたコミュニティ施設「salon(サロン) 齋藤亭」(帯広市東2南4)が完成した。15日同所で完成記念式典が開かれ、関係者が新たな地域交流の場を祝った。この古民家は、裁判官だった故齋藤明さんが通官後の1934(昭和9)年に建築した。建物も長く齋藤家の住宅だったが、家が倒れてから、ここを再びは使われていなかった。

同商店街が行った地域住民のニーズ調査では、コミュニティ施設の要望があった。そこで、商店街からは商店街から徒歩近く、定の広さを備えた古民家利用を計画。齋藤さんの建物所有者の齋山弘美さんの協力を得て、今回の準備が実現した。

事業は経産省北海道経済局の「地域商業自立促進業」に採択され、補助金1730万円を活用した。施設は木造2層建て。1層、20畳の和室と10畳の個室、キッチン、ダイニングがあり、それぞれ講演会、コンサート、茶会、会議、料理教室などの会場として貸し出す。その他、書庫やピアノも備える。同組合で齋山さんが共同で管理、

齋山弘美さんは「私も高学年まで暮らした家が、こうして利用されることだろう」と語った。「齋藤亭」の名前を残して、これをどう活用したいかと語り、式典には組合員や遺産相続人、関係者ら約50人が出席。長谷理理事長は「地域に役立つ施設として、商店街の全員で施設を進化させたい」とあいさつした。

運営局商業振興の高橋司会長は「商店街は、町民の大きなインパクトになるハードができた。地域にどう活用してもうかがいのソフト面が重要」と語った。団体の利用は時間ごとに1000円(冬は別に暖房費500円)、キッチン・ダイニングは時間300円。6月から正面の扉は、月一金曜日の午前中に個人向けに無料開放を行う予定。

問い合わせは齋山さん(011-844-6150)へ。(石塚恭大)



●平成29年3月 地域ニーズに対応したコミュニティ拠点整備事業
ホッチーノ ロースタリ

- 子育て支援、生活困窮者・若者支援などを通じて、人と人とのつながりが地域を支え、生きがいのある環境の整備が重要と考え、商店街・関係機関などと連携し持続的なコミュニティの場として拠点整備を実施。
■コーヒー焙煎のツールを活用した事業展開をし、焙煎士（米国焙煎士資格、Qグレーダー取得・SCAA米国スペシアルティコーヒー協会）を配置し、更なる商店街の活性化を目指す。
1) 地域コミュニティの拠点となる、多様な世代が交流できる場の設置
2) 障がい者共生支援・生活困窮者就労支援の場を提供
3) 若者の創業支援



十勝帯広 帯広でコーヒー豆の焙煎工場を運営する... 吉田 陽一さん... 多様な世代集う場に... 北帯広マイホームセンター

●平成29年5月

新たな障がい者支援事業者の参入!! cocoloco tokachi

就労継続支援A型事業所ココロコト勝

- ・商店街が空き店舗を斡旋。
- ・旅行企画会社での広告、プランニングとSEO対策、アウトドア会社でのガイド育成プログラムやイベント企画、その他広告デザインポスティング等の業務。



募集

対象となる方
 ・職歴が少なく、未経験でも得意な業務がある方
 ・接客業や事務系の方
 ・定時勤務の方

募集日
 月曜日～金曜日
 9時～18時

募集場所
 1000-1 8 101 (1000-1 8 101)

連絡先
 0156-67-7378
 (受付時間 10:00～18:00)

農家のみなさまへ
農作業
 募ります。
 5月 5日
 などスポーツでの提供も大歓迎!

美容室、店舗等
 事業主のみなさまへ
 フライヤー・チラシ広告制作
ポスティング
 募ります!
 募ります!
 募ります!
 募ります!

職員も募集しています!
 1000-1 8 101 (1000-1 8 101)

お問い合わせはココロコト勝までお気軽にどうぞ!!
0156-67-7378
 または、otolawase@peaks-tokachi.com
 Facebookページも見てね! "ココロコト勝"で検索

●平成29年8月 電信通り・西別院 ぼんおどり協賛

商店街とNPO法人ASAコラボ事業

「ココトミライ」こどもの職業体験事業

- ・商店街の各店の協力し、5才から中学生までの受け入れを実施した。
- ・若者の雇用不安が世界的現象になっている現在、子供たちが成人して働くとき、その半数以上が今は存在していない職業に就くと言われていいます。子供たちが、未来の街や職業を発想し、創造し、商店街の中で体験をする事業です。



第44回 電信通・西別院
ぼんおどり
 平成29年 8月6日(日) 西別院境内
 午後13時～20時30分 (帯広市東3条南5丁目)
子供げんおどり イベント
 (午後6時20分～始輪舞以下)
納言袋踊り大会
 (午後6時50分)
平日コーナー
 13:00 納言袋踊り
 13:30 ALCHA 納言袋踊り
 14:00 アラタチの心
 14:30 納言袋踊り
 15:00 納言袋踊り
 15:30 納言袋踊り
 16:00 納言袋踊り
 16:30 納言袋踊り
 17:00 納言袋踊り
 17:30 納言袋踊り
 18:00 納言袋踊り
 18:30 納言袋踊り
 19:00 納言袋踊り
 19:30 納言袋踊り
 20:00 納言袋踊り
 20:30 納言袋踊り



7.8上-9上 Imagine 発想キャンプ
 7.23上-8.4上 Create ワークショップ全場
 8.5上-6上+8.10上 Experience 職業体験開催

STEP 1 Imagine 発想キャンプ
 8.5上-6上
 発想し、職業を思い描く
 本願寺堂別院
 (職業体験会場は別所)

STEP 2 Create ワークショップ全場
 8.5上-8.6上 13:00～17:00
 参加費:500円 対象:小学生以上
 ●8/5上...未来の仕事と電信通り商店街のお店で職業体験ができるよ!
 ●8/6上...未来の仕事と電信通り商店街のお店で職業体験ができるよ!

STEP 3 Experience 職業体験開催
 8.5上-6上+8.10上
 職業体験ができるよ!
 ●8/5上...未来の仕事と電信通り商店街のお店で職業体験ができるよ!
 ●8/6上...未来の仕事と電信通り商店街のお店で職業体験ができるよ!

未来の自分何してる??

18日から キャンプや職業体験

「未来の自分何してる??」という問いかけから、子どもたちが未来の職業を思い描き、体験する事業です。

「未来の自分何してる??」という問いかけから、子どもたちが未来の職業を思い描き、体験する事業です。

「未来の自分何してる??」という問いかけから、子どもたちが未来の職業を思い描き、体験する事業です。

●平成29年10月 新世代リーダー育成 & にぎわい創出・来街者増加 2017電信通り ハロウィンの実施

- NPO法人・各種団体などと連携し、実行委員会を設置し地域に根ざしたイベントに育てる。
- 商店街次の時代を担う後継者育成に繋げる。

429
10
20

「2017電信通り Halloween」の環境で、「かぼちゃ重量あて」が同商店街で行われている。

○…帯広信用金庫電信通支店(帯広市東2南5)前に、巨大カボチャと同商店街のゆるキャラ「んぞうちゃん」の等身大



の締め切りは30日午後3時(結果は31日に同支店の店頭に掲示)。パネルにはヒントも書かれていますので、挑戦してみてください。(牧内奏)



○…帯広電信通り商店街振興組合(長谷渉理 組長のハロウインイベント)の合計値を推計して同支

パネルを設置し写真。巨大カボチャと、でんぞうし、投票する。

○…重量の一番近かった1人に、1万円相当のクリスマスツリー(高さ1.2m)を贈る。投票

Trick or Treat
2017 電信通り Halloween
10/7(土)~10/31(火)
ランタンがいっぱい、見に来てね!!

10/21(土)~10/22(日) 抽選で商品券、千円=10名様
巨大かぼちゃ敬あて!!
商店街直前に、巨大南瓜が何個あるかの専用紙に記入して下さい。ノボリの有るお店に用紙がございます。投票期は、10月21日(土)~22日(日)の2日間です。引換は、11月10日まで0900~1800(トサイン) (※2名乗車 自10155-248922まで)

雨天決行
10/31(火) 15:20 salon舞蔭亭 集合
お菓子などがもらえるよスタンプラリーで、先着100名 大人各200名 仮装パレード!!
仮装して参加いただいた方を全員、スタンプラリーカードをさしあげます。ノボリのある店でスタンプを各1個押してもらい、合計4個押まると景品がもらえます。※景品は子どもから小学生まで お菓子類のみです。大人はボックスランチです。交換は、18:30からsalonで開催を行います。10月31日17:00まで(※2名乗車4丁目)

10/16(月)~10/30(月) 一番近かった1人に、Xツリーが1.2mかぼちゃ重量あて!!
巨大南瓜・りんご・みかん・くるくると、中身の重さを、専用紙に記入して頂きます。10月16日(月)から25日(水)迄の期間に用紙があり、景品交換と等身大カボチャがあります。景品は、しんもん児童館期間内です。※景品は、10月31日帯広しんもん児童館支店の店頭に掲示いたします。

10/8(日) 申し込み先 千歳0902629-4470
ランタン制作ワークショップ!!
みかんでスタンプを作るの。15時半~16時半 定員15名様 参加料、1名/材料費・ランドリ付き500円。

主催 2017電信通りNPO法人実行委員会 共催 帯広電信通り商店街振興組合・社会福祉法人 舞蔭亭・NPO法人十勝福祉サービスセンター・高砂町・NPO法人 オールロードアソシエーション 協賛 帯広市・帯広市工芸協会・帯広市商店街振興組合連合会・十勝毎日新聞社

10月31日
臨時駐車場、西別院境内をご利用下さい。14:30~17:30まで。





平成29年度の事業③



●平成29年6月インバウンド調査事業

～帯広電信通りコミュニティゲストハウス

ハウス地域状況調査事業～

- ・本事業は、外国人を含む旅行客の滞在機能に加え、本事業から生まれる新たな人の流れ・交流が起爆剤となり、商店街での新規開業や投資の増加→商店街居住者を含む地域人口の増加→更なる新規開業や投資の増加、というポジティブスパイラルを生じさせ、地域全体が新たな発展サイクルに入って行くことを目指します。

帯広電信通りコミュニティゲストハウス・アンケート調査

Q1 貴店について教えてください。また、貴店が得意とするサービス、もしくは特徴を教えてください。
Please tell us about you. Check the category you are especially good at.

| | | |
|-------------|---------------|------------|
| 性別 (Gender) | 男性 (Men) | 女性 (Women) |
| 年齢 (Age) | 歳 (years old) | |

出身国 (Where are you from?)

日本での滞在経緯 (How many times did you come to Japan?)

- ・はじめて (Once)
- ・2回目 (Twice)
- ・3～4回目 (Three or four times)
- ・5回目以上 (More than five times)

日本の滞在期間 (How long is staying in JAPAN?)

- ・1ヶ月未満 (Less than 1 month)
- ・1か月以上3か月未満 (More than 1 month and less than 3 months)
- ・3か月以上半年未満 (More than 3 months and less than 6 months)
- ・半年以上1年未満 (More than 6 months and less than 1 year)
- ・1年以上 (More than 1 year)

Q2 ゲストハウスを利用したことがありますか?
Do you have stayed at Guest House?

| | |
|----------|------------------------|
| あり (Yes) | →Q3へ進む (Proceed to Q3) |
| ない (No) | →Q4へ進む (Proceed to Q4) |

ゲストハウス The Guest House

【特徴 (The Concept)】
半個室の、1泊3食～4食程度まで利用できる宿泊施設。
The Guest House type of stay overnight with meals. The cost is around 3,000~5,000 yen a night.

- ・食事の提供が無料の付いた共同キッチンで自炊できる。
You can make the meal by yourself in shared kitchen.
- ・ドミトリーと併設する相部屋がある。部屋の中心にはベッドがいくつかある。
There are dormitory rooms which are shared by other customers.
- ・バックパッカーを中心に海外で人気が広まった。
The Guest House has been popular among backpackers in the world.

リビング (Living room) | 共有キッチン (Shared Kitchen)
相部屋 (Dormitory room) | 相部屋 (Dormitory room)
共有トイレ (Shared toilet) | 共有シャワー (Shared shower room)

写真 (Photo) UNAPPARED HOTEL 掲載 (Success)

平成29年6月1日

帯広市 帯広電信通りコミュニティゲストハウス 調査員 高田 洋
調査員 高田 洋

「帯広電信通りコミュニティゲストハウス」アンケート調査にご協力のお買い

拝見 感謝です。改めてアンケート結果のまとめを申し上げます。
本調査、帯広電信通り商店街では、訪日客を誘引するゲストハウスの存在が、地元の方々に受け入れられる可能性がある。アンケート調査を実施することから、今後の調査において、観光客誘引と、観光客誘引施設としてのゲストハウスの存在が、地元の方々に受け入れられる可能性がある。今後の調査において、観光客誘引と、観光客誘引施設としてのゲストハウスの存在が、地元の方々に受け入れられる可能性がある。

帯広電信通り商店街、観光客誘引施設として15㎡未満の店舗は、15㎡以上の店舗、100㎡以上の店舗がある施設です。観光客誘引施設としてのゲストハウスの存在が、地元の方々に受け入れられる可能性がある。今後の調査において、観光客誘引と、観光客誘引施設としてのゲストハウスの存在が、地元の方々に受け入れられる可能性がある。

観光客誘引施設として、観光客誘引施設として15㎡未満の店舗は、15㎡以上の店舗、100㎡以上の店舗がある施設です。観光客誘引施設としてのゲストハウスの存在が、地元の方々に受け入れられる可能性がある。今後の調査において、観光客誘引と、観光客誘引施設としてのゲストハウスの存在が、地元の方々に受け入れられる可能性がある。

観光客誘引施設として、観光客誘引施設として15㎡未満の店舗は、15㎡以上の店舗、100㎡以上の店舗がある施設です。観光客誘引施設としてのゲストハウスの存在が、地元の方々に受け入れられる可能性がある。今後の調査において、観光客誘引と、観光客誘引施設としてのゲストハウスの存在が、地元の方々に受け入れられる可能性がある。

観光客誘引施設として、観光客誘引施設として15㎡未満の店舗は、15㎡以上の店舗、100㎡以上の店舗がある施設です。観光客誘引施設としてのゲストハウスの存在が、地元の方々に受け入れられる可能性がある。今後の調査において、観光客誘引と、観光客誘引施設としてのゲストハウスの存在が、地元の方々に受け入れられる可能性がある。

帯広市 帯広電信通り商店街 調査員 高田 洋
調査員 高田 洋

平成29年6月30日(日)まで
問合せ先 帯広市観光課 観光課 高田 洋
〒990-0001 帯広市南1条 2丁目 2-10 電話 0113-24-0355 FAX 0113-47-4337



今後に向けての調査事業実施



平成30年度末 訪日外国人向け

～コミュニティゲストハウス事業実施計画～

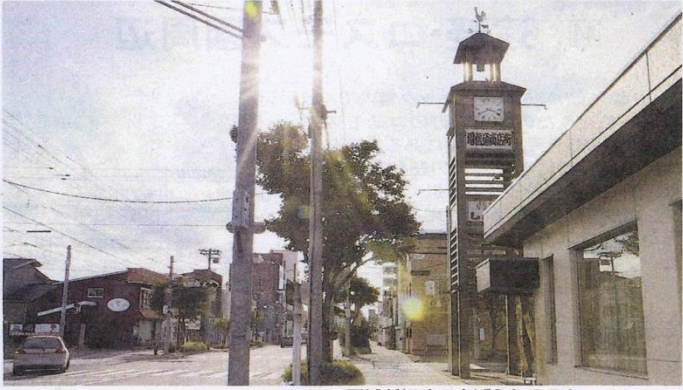
- ・障がい者支援事業者と商店街が運営し、外国人を含む旅行客の滞在機能に加え、商店街近隣住民、地元客との交流を促す機能などをベースとし、情報提供・発信基地として、商店街に新たな人の流れをつくり出すことを目指しております。さらに、本事業から生まれる新たな人の流れ・交流が起爆剤となり、地域全体が新たな発展サイクルに入って行くことを目指します。



2014年(平成26年)9月3日(水曜日)

北海道新聞

2012年(平成24年)2月29日(水曜日) 十勝毎日新聞



帯広・電信通



区域が初めて広げられることになった帯広電信通り商店街。手前の火の見やぐら風の建物はシンボルタワー

同商店街は、明治初期の十勝開拓とともに発展し、1897年(明治30年)に帯広で

同組合は近年、障害者を雇

初の電信柱が立ったことから

南北50m コミュニティー施設計画

7日の臨時総会で正式に決

再活性化事業に取り組み、2

商店街初の区域拡張

十勝帯広

帯広支社 報道 0155-24-21 営業 24-21 販売 24-21

新得支局 0156-64-520 池田支局 0151-572-266

車庫買取りキャンペーン実施中!

病 院 (3日) 内科・小児科系夜間救急当番医

帯広市補助金を種別 株式会社「でんしん」を立



でんしが開設する障害者向け賃貸

株式会社「でんしん」 障害者向け賃貸

地域に愛される 商店街に 電信通の挑戦

活動支える収益事業

組合は商店街の若を揃めた「成年交流会」を創し、



かちまいサンデー

加盟店 34年ぶり50店台

帯広電信通り商店街

帯広電信通り商店街振興組合（長谷理理事長）は組合加盟店が50店を突破した。中心部からは距離があり、一時は商店の相次ぐ廃業などで20店台まで落ち込んだが、34年ぶりに50店台に復活した。同商店街は「1年寄り・障がいのある人と協働・共生」を掲げ、2011年には道内第1号となる国の商店街活性化事業認定を受けた。空き店舗活用や、将来を見据えた街路の拡大策などを展開。組合加盟店を増やす商店街が少ない中、電信通り商店街の活気は長年の地道な活動が実を結んで格好だ。



福祉を核とした商店街づくりにはマスコミも注目。清野施設長（右端）とともに、福祉関連雑誌の取材を受ける長谷理事長（中央）と高橋専務（右から2人目）

同組合は1971年に73店（市振連）による、郊外で設立、74年に法人化した。その後、大型店の進出や大手スーパーのチェーン化が加速。組合構成の主体である「商店」の廃業が相次ぎ、加盟店は92年に38店と初めて40店を割り、2000年には28店にまで激減した。

（市振連）によると、郊外を除く12組合・振興会のうち加盟店が増加したのは早原通と電信通りにとどまる。市振連の木山博中事務局長は「早原通は駅前通りとして飲食店中心に出店が伸びている。電信通りは国や道の補助事業を活用し、数多くの空き店舗対策に継続的に取り組んでいることが大きい」とみる。

空き店舗対策ピンチ脱出

しかし、12・16年には40店前後にまで復活し、今年2月に保険代理店ISS（中尾祐代表）が加わったことで50店に。同組合によれば、4月には「まこと法律事務所（佐々木誠代表）が加入し51店になる予定。市商店街振興組合連合会

で同事業を推し進めてきたのは、08年に就任した長谷理事長と高橋専務だ。看板を扱う会社を営業部長、理事長は「歴史もあり、かつては門前町として栄えていたが、自分が就任した当時は通りが空き店舗だらけ。役員のみならず、活気もなかった」と振り返る。

▶ 帯広電信通り商店街の主な活性化事業

- 2011 コミュニティショップミナミナ…障害者支援施設としてカフェなどを運営。昨年5月からは高齢者見守り事業を兼ねた日替わり弁当の店売り・宅配などリニューアル
- 御用聞きべんそう商店…障害者就労支援施設として地域特産品や高齢者向け商品の販売などを行っている
- 電信通り「絆」…災害一時避難所・防災備蓄庫、開設と同時に、地域町内会、障害者就労支援施設と利用協定書を締結、地域の防災警察（けいも）拠点としても活用
- 2012 惣菜・ごはん屋「でんしん」…コミュニティ食堂、高齢者の交流拠点、居酒屋
- 起業家支援チャレンジショップ…当初は「びののふるみりずむ」が難関を乗り越え、子どもらに音楽を通じた情緒教育などを展開。移転で16年8月からは雑貨ショップ「TokoToko」が入店
- 2013 スイーツロード形成事業…蕎麦処・開拓舎の閉店。6次産業化に基づく農工商連携事業
- 2014 産学連携チャレンジショップ事業…帯広大谷垣大との連携調査をもとに若者に必要な事業としてカフェが出店。16年5月からは「ホッちゃん・コーヒー」が営業する
- 2015 コミュニティサロン設置事業…古民家を改装した「salon富藤亭」を整備。所有者の富山弘美さん運営。文化や地域拠点として多くの利用がある
- 2016 コミュニティビジネス創出加速事業…コーヒー館を核とした交流・協働拠点施設

多彩な事業負担3万円

具体的には、帯広ケア・センターが運営する喫茶などの「コミュニティショップミナミ」の閉店（11年16年に高齢者見守り弁当の宅配事業に業態変更）、地域の災害一時避難所も兼ね備えた地域拠点施設「絆」の整備（12年）、雇用促進として花（帯広、久保岡）社が運営する多機能型就労支援施設「てのひら」の閉所（13年）などにつなげた。てのひらの清野真知施設長は「福祉関連の店や施設が多く、人が温かい。利用者も安心して通っている」と話す。

就任後、アンケートやヒアリングから見えてきたニーズを基に、福祉やスイーツロードの形成などに向け、11年に経産省の地域商店街活性化法の認定を受けた。3カ年の実施期間だけで福祉や農業・商業を交流した起業家支援、防災の交流拠点づくりなど10以上の事業を実施した。

補助活用「福祉」核に活気

一方、14年に「商店街のさらなる飛躍に向け取り組んだ」（長谷理事長）というが区域の拡張。東2条を中心に南北に約1800坪、東西に約1200坪と従来の1.3倍にした。市振連によると、商店街の区画変更は極めて珍しい。拡張した街区には今年、農商工が連携しては店開拓費がオーブ。昨年は旧民家を改装したコミュニティ施設「salon富藤亭」が開業。今月13日には「こびー館（ほいせ心）」を核とした交流・協働拠点「ホッちゃん・ロースタリ」がオープンする。

好調の理由について、高橋専務は「月1回理事会を開催し、経過報告や構想の相談をするなど情報共有を欠かさない。飲み会など親睦も大切にしている」と話す。長谷理事長も「商店街を活性化するには人の力が必要。組合加盟店は多い方がいい。今はまだ過渡期。今後も時代に合った施設整備を進め、ソフト事業にも取り組むたい」と意欲を新たにしている。（佐藤いづみ）

将来見据え区域を拡張

11年から現在までに、事業費ベースで1億6000万円ほどの事業を手掛けた。国や道の補助があるとはいえ、3分の1は自己資金。加盟店の負担増も懸念されるが、実際の組合費は年3万円だけだ。資金を支えているのが、長谷理事長が社長を務め、11年6月に11人で設立したまちづくり会社「でんしん」。借り入れた5000万円を元手にマンションや駐車場の賃貸業を手掛けて収益を生みだし、組合に賦課金として年300万、400万円を払うことで賄っている。



電信通り商店街活性化事業経過

| 年度 | 事業名 | 事業内容 | 補助金交付者 | 資金 | 実施期間 |
|---|---------------------|--|---|--|----------------------|
| 平成元年 | 商店街活性化事業 | 街路整備事業完成 | | | |
| 平成12年 | 電信通り花と緑の推進委員会 | 電信通りにおける、花と緑による潤いとやすらぎのあるまちづくりを目的とする。 | | | 平成13年～ |
| 平成20年 | 2次補正予算「商店街活向上補助金」 | 街路灯のナトリウム灯照明をLED照明に交換 | 国庫補助金 (全国商店街振興組合連合会) | 総事業費 8,100,750円 補助金 5,143,333円 自己資金 2,957,417円 | 平成21年2月～平成21年6月 |
| 平成21年 | 廃食油回収事業 | 廃食油を回収しエコERCに提供し、バイオディーゼル燃料に再生。 | 帯広市いたわり事業補助 | | 平成22年6月～ |
| 中小企業庁の施策で新たな商店街支援策のための(株)全国商店街支援センターが設立される。 | | | | | 平成22年1月～ |
| 電信通り商店街コンセプト設定 ～お年寄り 障がいのある方と協働・共生する商店街～ | | | | | 平成22年～ |
| 平成22年 | 平成22年度商店街実践活動事業 | アンテナショップ ミナミナ広場 (帯広ケアセンターと共同運営) ■空店舗活用による不足業種の補完 ・高齢者の集えるコミュニティの場 ・自家農場の農産物販売 ・姉妹都市松崎町関連の展示、商品の販売 ・高齢者の手作り製品の展示、販売 | 国庫補助金 (全国商店街振興組合連合会) | 総事業費 1,493,660円 国庫補助額 1,000,000円 自己資金 493,660円 | 平成22年7月上旬～平成23年1月31日 |
| | 支援パートナー派遣支援 | 地域商店街活性化法の認定に向けて支援 | (株)全国商店街支援センター | 支援パートナー派遣 | 平成22年9月～7日以内 |
| | 現地マネージャー育成事業 | 商店街の活性化に寄与する担い手の育成 | (株)全国商店街支援センター | 現地マネージャー派遣 | 平成22年9月～平成23年2月 |
| | 商店街ゆるキャラ「でんぞうちゃん」決定 | | 商店街独自 | 採用賞品 商品券 50,000円 | 平成22年6月 |
| | NPO法人等連携地域活性化モデル事業 | ○べんぞう商店の運営 商店街の空店舗を活用し、アンテナショップとして利用し、地域の高齢者・障害者への利便性を高めた便利屋的な店舗とする。 実施主体(3者のコンソーシアム) ・NPO法人十勝障害者サポートネット ・社会福祉法人 慧誠会 ・帯広電信通り商店街振興組合 | 北海道(委託事業) 実施条件 事業実施に当たり筆業者を雇用しそのうち50%以上の障害者を雇用する。 | 総事業費 6,482,198円 北海道委託金額 6,482,198円 | 平成22年10月～平成23年3月31日 |
| | 第4回いってみたい商店街&お店 | 商店街部門 大賞受賞 | 北海道 | | 平成23年2月 |



| | | | | | |
|-------|--------------------------------|---|--|---|------------------|
| 平成23年 | 地域商店街活性化法認定 | | 北海道経済産業局 | | 平成23年3月31日 |
| | 平成23年度中小商業活力向上事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・温もり支援事業(i)/コミュニティショップミナミナ ・温もり支援事業(ii)/べんぞう商店 ・陽だまり支援事業:傾聴所心音/陽だまりサロン ・スイーツロード形成事業/ぶどうの木 ・門前街ルネサンス事業/秋フェス | 北海道経済産業局 | 総事業費 32,580,000円 国庫補助金 20,685,711円 帯広市補助金 4,485,000円 自己資金 7,409,289円 | 平成23年4月～平成24年3月 |
| | 平成23年度 商店街活性モデル創出事業(全国3ヶ所) | <ul style="list-style-type: none"> ・帯広電信通り商店街スイーツロードルネサンス ・地元食材を使った商店街独自スイーツの開発 | (株)全国商店街支援センター (株)KITABA 帯広商工会議所90周年事業 | 総事業費 3,513,000 | 平成23年9月～平成24年2月 |
| | 第3次地域商店街活性化法支援 | 災害時寄託者難民受入施設整備事業 | 北海道経済産業局 | 総事業費 5,275,705円 国庫補助額 3,221,819円 自己資金 2,053,886円 | 平成24年1月～平成24年3月 |
| 平成24年 | 平成24年度中小商業活力向上事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・うるおい支援事業/惣菜・ごはん屋でんしん ・起業家支援チャレンジショップ事業/びあのカフェりずむ ・門前街ルネサンス事業(ii)/花場咲かせよ園芸市 ・温もり支援事業(i)/コミュニティショップミナミナ ・温もり支援事業(ii)/べんぞう商店 ・陽だまり支援事業:傾聴所心音/陽だまりサロン ・スイーツロード形成事業/ぶどうの木 ・門前街ルネサンス事業/秋フェス | 北海道経済産業局 | 総事業費 16,336,012円 国庫補助金 9,967,258円 帯広市補助金 1,517,000円 自己資金 4,851,754円 | ・平成24年4月～平成25年3月 |
| | 北海道地域商業活性化総合対策事業(連携型活性化促進支援事業) | ・事業を実施する為のアンケート調査・商品開発 | 北海道十勝総合振興局 | 総事業費 343,103円 北海道補助金 163,000円 自己資金 180,103円 | 平成24年4月～10月 |
| | 北海道地域商業活性化総合対策事業(活性化加速事業) | ・十勝ミートパイの店 てのひら | 北海道十勝総合振興局 | 総事業費 8,285,713円 北海道補助金 4,000,000円 帯広市補助金 200,000円 自己資金 4,085,713円 | 平成24年11月～平成25年3月 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・スイーツロード形成事業/新規事業者募集&出店 ・空店舗改装費商店街負担 ・商学官連携チャレンジ事業 ・調査委託先:大谷短大 | 北海道経済産業局 | 総事業費 9,630,000円 国庫補助金 6,114,283円 帯広市補助金 619,000円 自己資金 2,896,717円 | |



| | | | | | |
|-------|-----------------------|--|--------------------------------|---|--|
| 平成25年 | 平成25年度中小商業活力向上事業 | (継続事業) <ul style="list-style-type: none"> ・うるおい支援事業/惣菜・ごはん屋でんしん ・起業家支援チャレンジショップ事業/びあのカフェリずむ ・門前街ルネサンス事業(ii)/花場咲かせよ園芸市 ・温もり支援事業(i)/コミュニティショップミナミナ ・温もり支援事業(ii)/べんぞう商店 ・陽だまり支援事業:傾聴所心音/陽だまりサロン ・スイーツロード形成事業/ぶどうの木 ・門前街ルネサンス事業 /秋フェス | | | <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年7月～平成26年3月 |
| | 平成25年度地域商業再生事業 | ・帯広市東地区地域コミュニティ再生のための地域状況調査分析 | 北海道経済産業局 | 総事業費 3,010,314円 国庫補助金 1,912,576円 帯広市補助金 156,000円 自己資金 941,738円 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年8月～平成26年3月 |
| | 地域内クレジットを活用した低炭素地域づくり | 市民・商店街・BDF製造事業者・バス事業者が連携した廃油回収システムの試行を行う | 環境省 一般社団法人 交通環境まちづくりセンター | | |
| 平成26年 | 平成26年度地域商業自立促進支援事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・産学連携チャレンジショップ/CAFE SOMA ・起業家支援チャレンジショップ事業/思い出工房 ・門前街ルネサンス事業(ii)/ミニマムパーク | 北海道経済産業局 | 総事業費 18,789,246円 国庫補助金 11,525,060円 帯広市補助金 833,000円 自己資金 6,431,186円 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年8月～平成27年3月 |
| | 平成25年度補正商店街まちづくり事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 電信通り除雪対策事業(除雪車購入事業) | 商店街まちづくり事業事務局 | 総事業費 14,256,000円 国庫補助金 8,800,000円 帯広市補助金 142,000円 自己資金 5,314,000円 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年7月～平成27年2月 |
| | 平成25年度補正商店街活性化事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 電信通り有機のまち事業(有機野菜祭&秋フェス) | 全国商店街振興組合連合会 | 総事業費 4,357,546円 国庫補助金 4,000,000円 自己資金 357,546円 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年7月～平成27年2月 |
| 平成27年 | 平成27年地域商業自立促進事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティサロンの設置事業 | 北海道経済産業局 | 総事業費 28,036,800円(予算) 国庫補助金17,306,666円(予算) 帯広市補助金 500,000円 自己資金 10,230,134円(予算) | <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年8月～平成28年3月 |